

首相答弁 大破たん

加計申請「知ったのは1月20日」 従来答弁くつがえす

共産党・小池書記局長が追及

日本共産党の小池晃書記局長は7月25日の参院予算委員会の閉会中審査で、安倍首相が加計学園の獣医学部新設の要望を知ったのは「今年1月20日だった」としたことについて、従来の答弁では2年前に知っていたことになっていると指摘。「明らかに虚偽答弁ではないか」と安倍首相の責任を追及しました。(右写真)



「明らかな虚偽答弁」と追及

安倍首相は前日の衆院予算委で加計学園の意向を知ったのは、同学園が事業者に認定された今年1月20日だと答弁。小池氏は、安倍首相が国会で▽「特区に申請した段階で、当局から説明をうけるわけで、当然、総理大臣として知りえた」(5月9日)▽「申請を今治市とともに出された段階で承知した」(6月5日)と述べていたことを紹介。今治市が申請したのは2015年6月であり、「2年前の6月には知っていたのではないかと指摘しました。

安倍首相は、適切に答えられずに何度も中断。結局、「知りうる立場にあったが、実際には認識しなかった」「申請を決定する段階(今年1月20日)で承知をした」と、従来の答弁を修正しました。小池氏は、「すべての委員会で答えてきたことを全部ひっくり返すような話だ。(審議を)やり直さないとダメだ」と求めました。

…… 小池書記局長ら野党質問を
いっせいに報道する各紙



加計氏、昨年相次ぎ大臣面会

「首相だけ知らない」は通らない

また小池氏は同学園の加計孝太郎理事長が、山本有二農林水産相、山本幸三地方創生担当相と昨年8月から9月にかけて面会したことを指摘。両氏は面会で獣医学部の話が出たことを認めました。「2人の大臣に獣医学部の話をしたのに、何度も加計氏に会っている首相がなぜ知らないのか」と追及。加計氏の証人喚問を求めました。

詳しくは動画で→



国政私物化の安倍政権に国政で審判を!!

自分の疑惑をかわすために、従来の答弁を平気でくつがえす——あまりに無責任であり、国民は誰も納得しません。疑惑にこたえず、9条改憲を強行しようとする安倍政権にノーの審判をつきつけましょう。

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2017年7・8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党